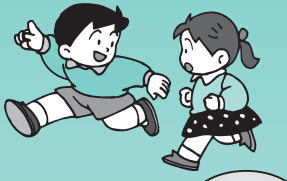




ふるさとウォッチング



7/30

マイペースで健脚競う ふるさとのロード・マラソン

すてきな風になってあなたと走るをテーマに、今年で15回目を迎える「ふるさといろど・マラソン」が吉田町深野川沿いのコースで開かれました。
参加者は、健康ウォークの部やファミリーの部など多くの部門に分かれてスタート。カネボウ陸上競技部の招待選手、澁谷明恵さんと佐藤洋平さんと共に、それぞれのペースで完走し、心地よい汗を流しました。
レースを終えると、田井小学校児童や市職員で構成する「トロンボイジャー」らによる演奏会や地元食材を利用したいのしし汁で疲れた体を癒していました。



9/1

くまの子見守り隊 ボランティアの交流の集い

各地域で子どもたちを守る防犯グループが結成されています。このうち、木次町の下熊谷地域では、地区内の住民で組織するボランティアグループ「下熊谷の子どもを事件から守る会（山根敏樹代表、27名）」が結成されました。
同会は「子どもたちとメンバーがともに育つ」という意味の「共育」をテーマにしており、結成式にあわせた交流会では、木次小学校の子どもたちと「積木ワークショップ」によって交流を深めました。



積み木インストラクターの中木明美さん（広島県）を講師に招き、子どもたちとメンバーは、中木さんから指導を受けながら、積木を使った「創造の街」を共同作業により創りあげました。
今後、同会では下校時の立ち番活動をはじめ、子・親・会員の世代間交流を通じた交流活動などに取り組んでいく予定にしています。

お盆の恒例行事「龍頭が滝の滝まつり」が開催され、今年は天候にも恵まれたこともあり、大勢の帰省客や観光客でにぎわいました。
祭りでは、滝開き神事や地元住民らの出店のほか、「滝踊り」も披露され、笠をかぶり優雅に舞う踊り子の姿を撮る写真愛好家の姿も見られました。
これから紅葉シーズンを迎え、龍頭が滝は、夏場と違った風景を見せてくれます。市内の滝めぐりに出かけてみられてはいかがでしょう？

8/15

龍頭が滝の滝まつり



8/17

安来節保存会 加茂支部が見事優勝

安来市で開催された「安来節全国優勝大会」で、安来節保存会加茂支部が団体の部で見事優勝の栄誉に輝きました。
安来節の団体戦は、唄2人、三味線2人、鼓1人が1チームとなり、それぞれの部門の総合得点で審査されます。加茂支部は昭和39年に発足し、伝統文化の保存にあたってこられました。優勝したメンバーのひとりには「最近では若い方も仲間に加わり活動に励んでいます。今後も稽古を続け、技術を磨いていきたい」と話していました。



団体の部で優勝した安来節保存会加茂支部のメンバー



8/26

三刀屋高校演劇部 全国大会で優良賞・審査員特別賞

8月3日から5日にかけて、京都府八幡市で開催された「第52回全国高等学校演劇大会」へ三刀屋高校演劇部が出場しました。
同校演劇部は、昨年行われた県大会・中国大会で見事優勝し、全国大会公演に向け練習を重ねてきました。
大会では、会場と一体となり観客を魅了した演技が評価され、全国大会優秀校として県内初となる国立劇場での東京公演にも出場しました。
八木良憲部長は「演劇舞台の最高峰、国立劇場」に立てたことうれしく思います。今後も演劇活動を続けていきたい」と話してくれました。
16人の部員たちは、亀尾佳宏先生・石津聡子先生を顧問に、現在、9月23日のラメール公演に向け練習に励んでいます。

8/26

初開催 どげなが地域の夏祭り



新結成された若者組織「どげな会」。今後のイベントも期待されます。

第1回佐世どげな祭りや佐世公民館横の広場でにぎやかに開催されました。
佐世地区内の20代から30代の若者で組織するどげな会（土屋卓也会長）が地域の活性化にはじめて主催したもので、当日は地区住民などおよそ300人が参加しました。
金魚すくいやポップコーンなどの夜店もすべてどげな会のメンバーで運営したほか、芸能やダイトレンジャーショーなどもあり、参加者たちは夏の夜のひとときを楽しみました。



三刀屋高校演劇部のみなさん